

11/8「いい歯デー」クイズ&アンケート

県民 1,000 人から歯科に関する声寄せられる

保険給付拡大の意見も

11月8日の「いい歯デー」に合わせて恒例の歯科に関するクイズ&アンケートを実施したところ、県内在住者（歯科会員は除く）の1,004名の方からの応募がありました。

図1 歯科矯正相談料についてご存知ですか？

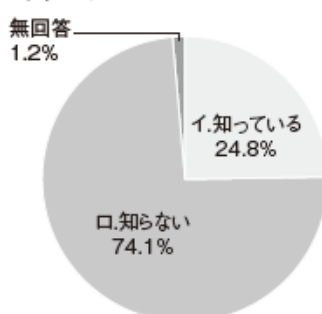
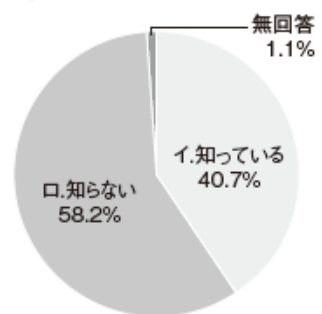


図2 口腔機能低下症について歯科医院で検査できることをご存知ですか？



口の機能の衰え（口腔機能低下症）の検査が積極的に行われることについて、どう思いますか？（図3）というものでした。アンケートの回答は①では、知っている24.8%、知らない74.1%で、②-1では、知っている40.7%、知らない58.2%、②-2では、とても良い89.1%、よく分からない9.2%、あまり良くない0.4%という結果でした。

矯正治療も保険適用にしてほしい

歯科矯正相談料の保険適用の自由意見では、矯正についての悩みが相

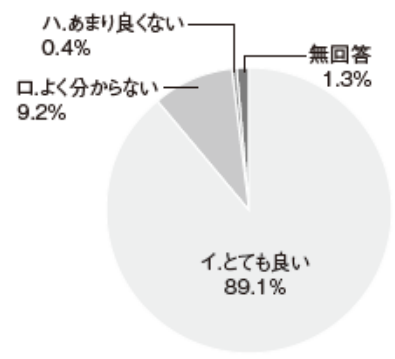
談しやすくなって助かる、娘が自費で矯正をしているが相談料が保険適用になるのは良いなどの意見があり、口腔機能低下症についての自由意見では、食べることは生きることにつながっているものでオーラルフレイル予防は重要だと感じた、知らなかったので検査について相談してみたい、口の機能が衰えると全身の健康にも影響するので検査は大事だと思うなどの意見がありました。

その他の自由意見では、定期的にメンテナンスで受診して予防に努めている、ブラッシング指導でむし歯にならないように気をつけているなどの意見や、保険診療を安くして欲しい、無料の定期検診があると良い、ホワイトニングやインプラントを保険適用にして欲しい、矯正治療の費用が高く安くして欲しい、歯の矯正も保険適用にして欲しいなど治療費に関する意見も多くありました。今後もより多くの県民の皆様がより良い歯科治療を受けることができるような働きかけが必要だと感じました。

（山口芳輝記）

※アンケート結果の全ては、協会ホームページに掲載しています。

図3 口腔機能低下症の検査が積極的に行われることについて、どう思いますか？



常任理事会だより 〈2024年度第7回〉

高額療養費「見直し」撤回を求める要望提出を決める

2月18日に行い、役員11人が出席した。

情勢討論では、国が進める高額療養費制度の見直しに反対する意見が相次いだことから、撤回を求める緊急要望書を提出することを決めたほか、トランプ政権の動向や医師偏在問題でも意見が出された。

医療運動では、会員に対し、4月からの医療DX推進体制整備加算の改定や医療機関に対する支援金が給付される生産性向上のための取り組み支援事業に関する情報提供を行うことを決めた。

各部・委員会では、保険で良い歯科医療を求める署名の実施、よい歯デー市民講演会&お口のなんでも健康相談のPR、日常診療経験交流会では「ペイハラ」を取り上げることなどを決め、日本被団協ノーベル平和賞受賞記念「長崎平和フォーラム」や第48回定期総会の準備についても検討した。